

■ 指定管理者制度導入施設 モニタリングシート ■

評価年度	令和2年度
------	-------

1 基本情報

公の施設名	相模原市立診療所(青野原診療所、千木良診療所、藤野診療所)
指定管理者名	日本赤十字社
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年間)
施設設置条例	相模原市立診療所条例
施設の設置目的	診療、看護、公衆衛生活動等を行うため
施設概要	◆市立青野原診療所:相模原市緑区青野原2015番地2 昭和39年2月1日(平成22年4月1日に神奈川県から移管)開設 ◆市立千木良診療所:相模原市緑区千木良852番地8 昭和42年4月1日(平成22年4月1日に神奈川県から移管)開設 ◆市立藤野診療所:相模原市緑区小淵1656番地1 昭和36年7月1日(平成22年4月1日に神奈川県から移管)開設
施設所管課	健康福祉局 保健衛生部 医療政策課

2 管理実績

項目(単位)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用者数合計(人)	20,131	20,501	19,869	18,957	18,278	15,944	12,291
うち 往診患者延数	771	599	674	624	437	269	152
診療収益(円)	256,967,853	266,024,108	241,961,091	223,622,217	184,767,631	160,046,152	133,917,662
診療単価(円)	12,765	12,976	12,178	11,796	10,109	10,038	10,896

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
D	・津久井地域における診療所として、当該地域における地域医療体制に寄与している。 ・当該地域の人口減や新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から受診控えが影響し、1日あたりの延べ患者数(人)は目標値を4.9人下回っている(達成度77.4%)。

指標1	
指標名(単位)	1日あたりの延べ患者数(人)
指標式と指標の説明	1日あたりの延べ患者数を指標とし、地域住民に身近な診療所としてどの程度利用されたかを確認する。

項目(単位)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値(人)	23.0	23.5	23.2	27	26.1	25.0	21.7
実績値(人)	22.9	23.8	27.7	26	25.1	21.7	16.8
達成度(%)	99.6%	101.2%	119.4%	96.7%	96.2%	86.8%	77.4%

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	<ul style="list-style-type: none"> 相模原赤十字病院との連携により、訪問診療や禁煙外来等を実施し利用者のニーズに応えている。 地域における発熱患者等も診療するために、発熱診療等医療機関に指定され、診療していることは評価できる。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
地域住民に対する初期医療の提供及び病診連携による地域の医療水準の向上	通年	津久井地域における診療所として、相模原赤十字病院等と連携し、地域医療体制の維持に貢献した。	○
訪問診療の実施による在宅患者の支援	通年	訪問診療を年間を通して実施した。 (延べ往診患者人数:152人)	○

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
(なし)			

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
(なし)			

5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	<ul style="list-style-type: none"> 診療所職員の対応面については、平均90%以上の高い評価を受けており、診療サービス面については、診療待ち時間で一部低い評価もあるが、平均80%以上の満足度が得られていると評価できる。 診療所に対する意見には、診療所に対する感謝等、好意的な意見が多く寄せられており、本年度においても95.4%(目標値92.7%)と高い評価を受けている。

利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	「診療所職員の対応」、「診療待ちから会計までの待ち時間」項目において、利用者を対象にアンケート調査を実施した。 サンプル数:青野原…138、千木良…76、藤野…100 実施時期:令和3年1月5日～令和3年2月27日
目標値の基準	利用者から「また利用したい」との評価を受けている合計の割合

項目 (単位)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値 (%)	90.1	90.6	91.1	92	92.1	92.4	92.7
実績値 (%)	95.2	95.7	97.9	97	97.4	95.4	95.4
達成度 (%)	105.7%	105.6%	107.5%	105.7%	105.8%	103.2%	102.9%

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	市立診療所3施設合計による本体事業収支、全体収支において黒字となっていることからS評価とする。

施設の収支概要

※直近3年間について記載

(円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
収入 (a)	205,363,069	189,355,016	207,775,627
指定管理料	20,151,352	29,034,370	29,300,740
利用料金収入	184,767,631	160,046,152	133,917,662
その他の収入	444,086	274,494	44,557,225
支出 (b)	200,971,536	185,630,811	199,649,973
材料費	60,366,456	51,761,295	42,442,556
給与費	98,804,048	93,161,181	90,251,839
委託費	27,177,979	25,007,841	51,501,553
設備関係費	7,828,457	9,701,931	6,945,525
その他の支出	6,794,596	5,998,563	8,508,500
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)	4,391,533	3,724,205	8,125,654
自主事業収入 (d)	0	0	0
自主事業支出 (e)	0	0	0
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)	0	0	0
全体収支 【(c)+(f)】	4,391,533	3,724,205	8,125,654
備考			

団体の財務状況

団体本体の経営状況について特段の問題はない。

7 管理業務の履行状況

検査方法	現地確認、指定管理者へのヒアリング
実施時期	各診療所、指定管理者：令和3年9月16日実施

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	指定管理者へヒアリング確認
危機管理	適正に実施	指定管理者へヒアリング確認
人員配置・地元活用	適正に実施	指定管理者へヒアリング確認
現金管理	適正に実施	入出金記録確認、指定管理者及び事務取扱員へヒアリング確認
会計・経理	適正に実施	入出金記録確認、指定管理者及び事務取扱員へヒアリング確認
情報セキュリティ	適正に実施	指定管理者へヒアリングにより確認
情報公開・個人情報保護	適正に実施	指定管理者へヒアリングにより確認
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	指定管理者へヒアリングにより確認
加点事由	具体的内容	

8 指定管理者の自己評価

一部診療所で北里大学からの医師派遣による常勤医師の確保が出来なかったが、診療所の看護師及び事務の責任者と日本赤十字社（相模原赤十字病院）とで連絡会議を定期的に行い、診療所の診療業務、経営状況などを協議・報告するなど、健全な診療所管理業務を遂行することができた。また、11月からは3診療所全てで発熱診療体制を整え、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めた。

令和2年度についてもこれまでと同様で地域住民に対し、安全で安心な医療を提供することができた。

9 所管課意見

新型コロナウイルス感染拡大防止による受診控え等により受診者数が大幅に減少したが、診療所患者満足度調査によると診療所職員の対応は3診療所共に満足度90%を超え、地域に根差した医療機関であるということが伺える。

医療機関が少ない地域の特性を踏まえ、発熱診療等医療機関に協力したことは、市立診療所の設置目的を十分理解していると認識しており、発熱外来対応による国の補助金を確保したことで運営努力に寄与していると評価できる。

10 選考委員会意見

・人口が減少している地域であり患者の減少はやむを得ない部分もある。地域のニーズに応じ受診者増に向けて努めていただきたい。

・コロナの流行という厳しい状況で、特に高齢化が進む人口減少地域での医療拠点という役割をこれからも全うしていただきたい。

アンケートでもまた利用したいという回答が大多数で、限られた資源の中でニーズに応えるよう努力を重ねていることが伺える。

・指定管理者の経営状況は、特段の課題はなく、健全な経営がなされている。

・医師会事業への積極的な参加をお願いしたい。

・成果指標が未達成となったが、次期評価から指標が変わることによって結果が反映されることを期待する。

総合評価（自動判定）

B

(65/100)

